

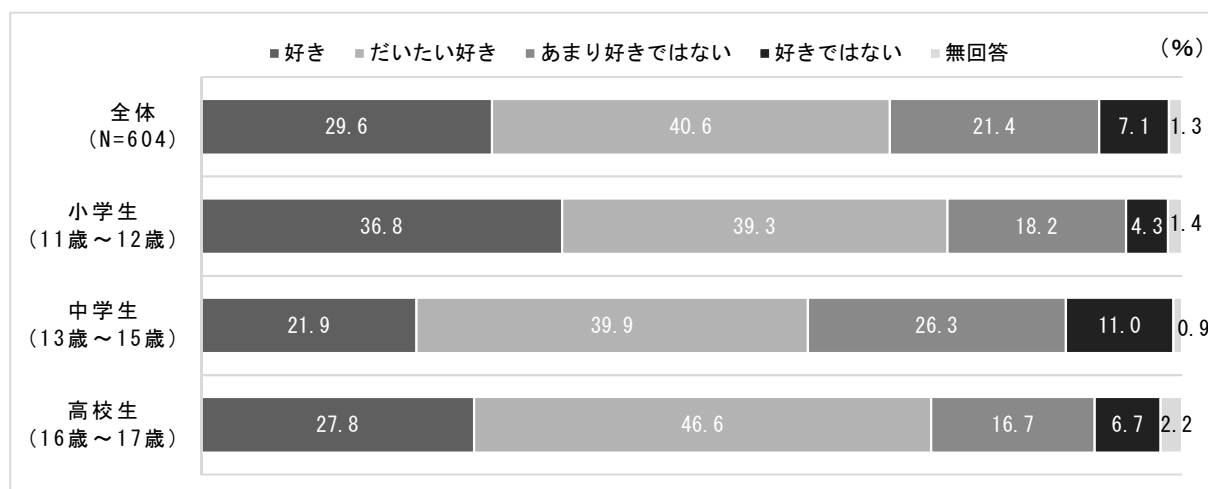
5 あなたの思いについて

(1) 自己に対する評価について

【子ども：年齢別】

子どもに、自分が好きかをたずねたところ、子ども全体で「好き」、「だいたい好き」と回答する割合は合わせて70.2%でした。年齢別にみると、小学生世代が76.1%と最も高くなりました。

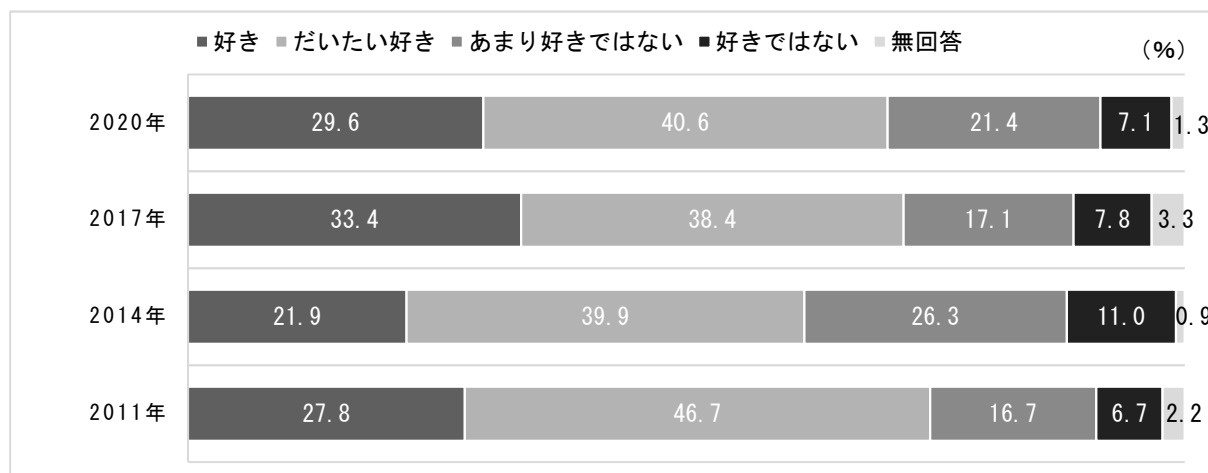
図74 Q39 あなたは、自分が好きですか。【子ども：年齢別】



【子ども：経年比較】

「好き」、「だいたい好き」と回答する割合は、前回調査が71.8%だったのに対し、今回調査では70.2%と減少しました。

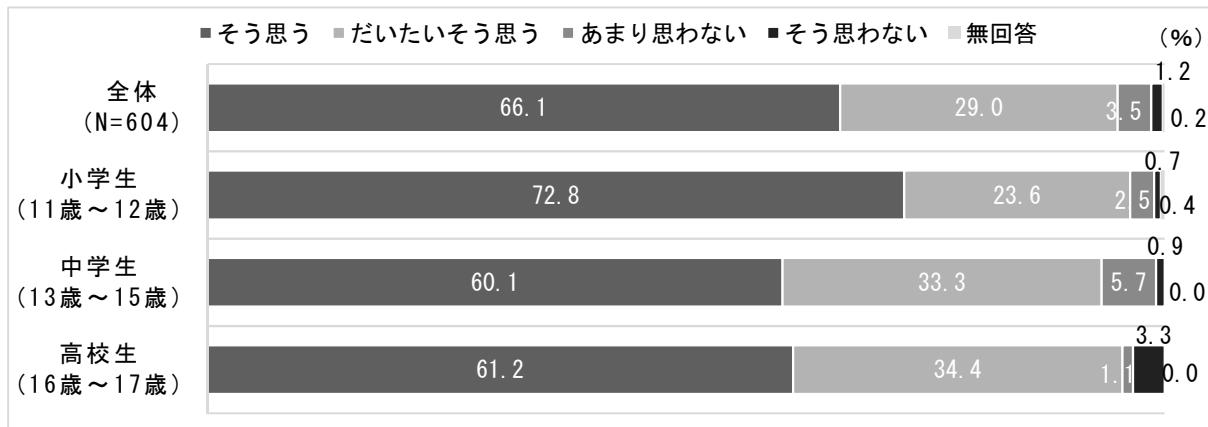
図75 Q39 あなたは、自分が好きですか。【子ども：経年比較】



【子ども：年齢別】

子どもに、自分は親や周りのおとなから大切にされていると感じるかをたずねたところ、子ども全体で「そう思う」、「だいたいそう思う」と回答する割合は合わせて95.1%でした。年齢別にみると、小学生世代が96.4%と最も高くなりました。

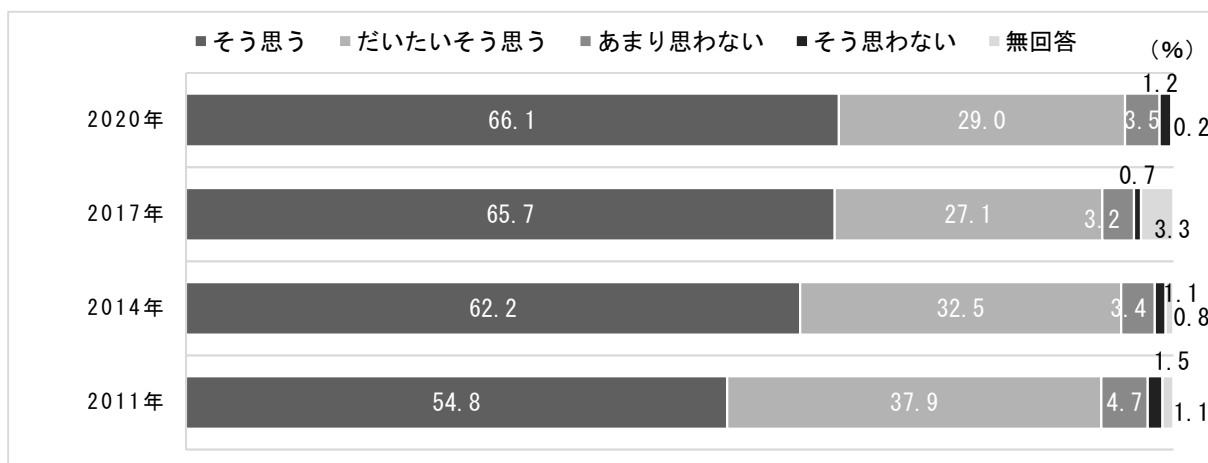
図 76 Q 4 0 あなたは、自分は親や周りのおとなから大切にされていると感じますか。【子ども：年齢別】



【子ども：経年比較】

「そう思う」、「だいたいそう思う」と回答する割合は、前回調査が92.8%だったのに対し、今回調査では95.1%と上昇しました。

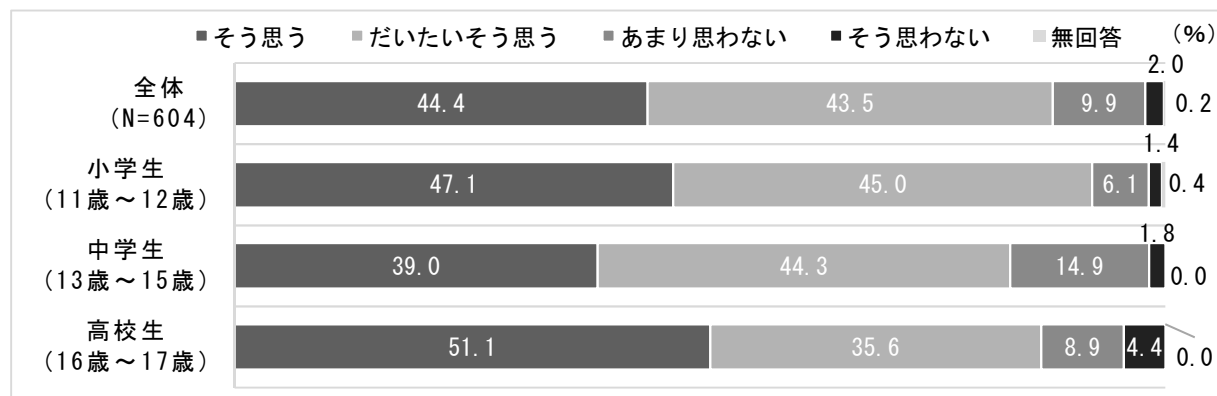
図 77 Q 4 0 あなたは、自分は親や周りのおとなから大切にされていると感じますか。【子ども：経年比較】



【子ども：年齢別】

子どもに、自分は友だちにとって大切だと思うかたずねたところ、子ども全体で「そう思う」、「だいたいそう思う」と回答する割合は合わせて87.9%でした。年齢別にみると、小学生世代が92.1%と最も高くなりました。

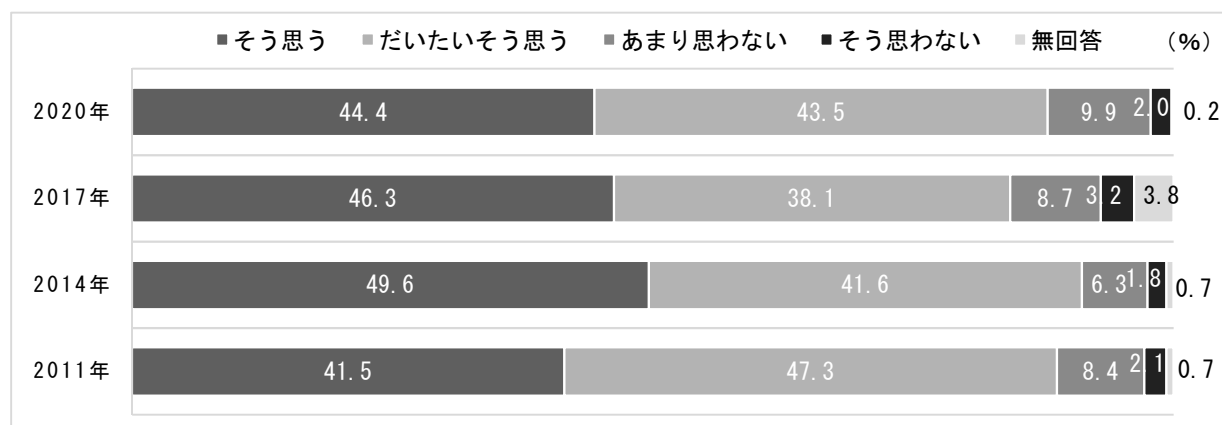
図 78 Q 4 1 あなたは、自分は友だちにとって大切だと思いますか。【子ども：年齢別】



【子ども：経年比較】

「そう思う」、「だいたいそう思う」と回答する割合は、前回調査が84.4%だったのに対し、今回調査では87.9%と上昇しました。

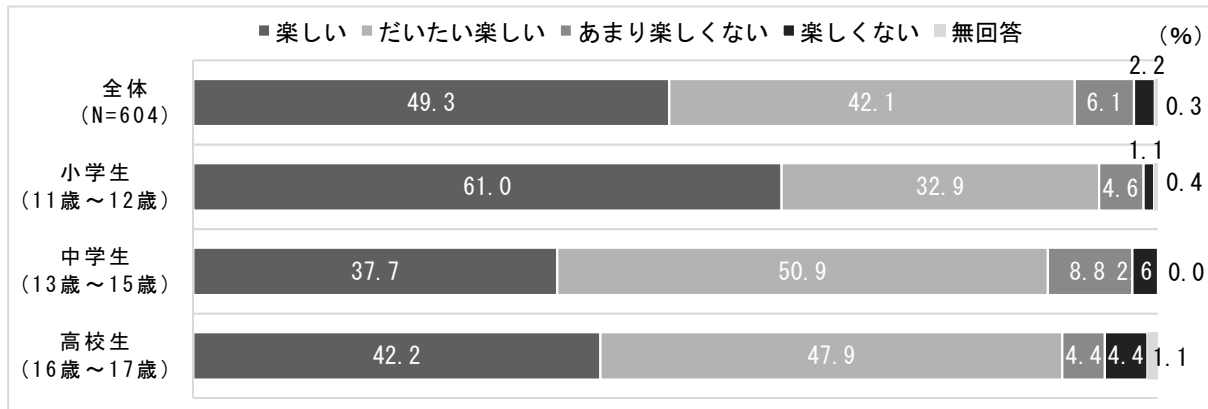
図 79 Q 4 1 あなたは、自分は友だちにとって大切だと思いますか。【子ども：経年比較】



【子ども：年齢別】

子どもに、毎日が楽しいかたずねたところ、子ども全体で「楽しい」、「だいたい楽しい」と回答する割合は合わせて91.4%でした。年齢別にみると、小学生世代が93.9%と最も高く、続いて高校生世代が90.1%、中学生世代が88.6%でした。

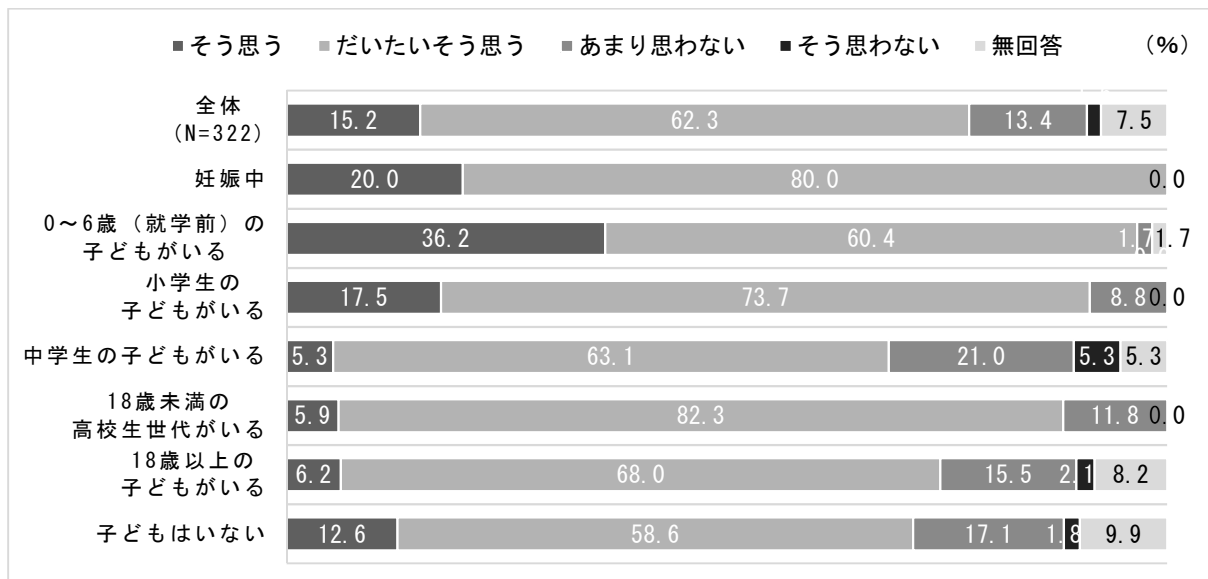
図80 Q42 あなたは、毎日が楽しいですか。【子ども：年齢別】



【おとな：子どもの有無別】

おとなに、子どもは、毎日が楽しいと感じていると思うかたずねたところ、おとな全体で「そう思う」、「だいたいそう思う」と回答する割合は合わせて77.5%でした。子どもの有無別にみると、中学生の子どもがいるおとなの回答が68.4%と最も低くなりました。

図81 Q33 子どもは、毎日が楽しいと感じていると思いますか。【おとな：子どもの有無別】



(2) 安心して生きていくために大切だと思うこと

【子ども】

子どもに、子どもが安心して、自分らしく生き、社会に参加しながら成長していけるには、どんなことが大切だと思うか、何でも自由に書いてもらったところ、以下のような回答がありました。(抜粋)

- ・大人も、自分たちの周りの人も、協力しながら、差別をせず生きるべきだと思う。そして、相手の意見を尊重しないといけないと考える。(11歳)
- ・自分の意見が尊重され、まわりの人と仲良くできて、温かな家庭が自分をまっている事が大切だと思う。(11歳)
- ・自分のことを考えるのではなく、世界全体のかんきょうをかんがえたいです。実現されなくてもおちこむのではなく案をだした自分をほめたほうがいいと思います。(11歳)
- ・小学生のうちに、仕事体験して、お金の大切さを知るとというのが、あったら良いと思います。(11歳)
- ・子どもが安心して、すごすためには、まず、親や学校の先生が、子どもの話を聞くことが大切だと思います。そして、おとなの方々が子どもに、ボランティアなどに参加したくなるような事をやった方がいいと思います。(11歳)
- ・こども文化センターをたくさん作り、その中にそうだんしつを作る。(11歳)
- ・困った時にいつでもだれにでも相談できる社会と困った人を見つけたときに手をさしのべる環境だと思う。(11歳)
- ・いじめを無くすこと いじめられる自分が嫌になってしまうから。人との関わりを持つこと。(12歳)
- ・生まれもった個性を尊重し、何事にも積極的に取り組むことが大切だと思う。(12歳)
- ・子どもの変化に気づき、すぐ話しかけてあげられる大人が増えること。また失敗についても叱るだけでなく、改善点を一緒に考える人が増えること(12歳)
- ・その人の意見を全否定しない、尊重する。(13歳)
- ・自分の意見を言える場をもう少し多くつくる。気軽に意見を言えるようにアンケートや目安箱などを実施する。(13歳)
- ・子どもの意見と大人の意見がどちらとも使われるような社会。(13歳)
- ・大人が子供をみはなさないこと。全ての物事を大人が決めたり、放棄したりするのではなく、場面に応じて対応してあげること。(14歳)
- ・全員が自由に生きるには誰かが我慢しないといけないし、ずっと我慢もできないし、我慢と自由のバランスが大切だと思った。(14歳)
- ・一番大切なのはまわりの環境だと思う。それによって、ありのままの自分が出せるかも変わるし、愛情を受けながら育っていれば、安心して生きていける。(14歳)
- ・安心できる場所を1人1つもつこと(14歳)
- ・学校にいつている子もいない子も、個人で相談する場所が必要だと思う。(14歳)
- ・子どもが積極的に話し合いに参加したり、参加できる場をたくさん作る。(15歳)

- ・大人が必要の範囲内で手助けをすることが大切だと思う（主に社会面、金銭面）（15歳）
- ・自分の意見をはっきりと言えるような空気を大人や周りが作ることで、安心できると思う。（15歳）
- ・社会参加するために、その場を大人が作らなければいけない。夢パークのような施設をもつと作ると思う。周りの人を信用できるように、伸び伸びと生きる環境づくりが大切。（16歳）
- ・親等に理解されること。守られること。支援が受けられること。（16歳）
- ・人から必要とされることや、自分が好きだと思えることを見つけること。（16歳）
- ・一人でも多く子どもの孤独をなくすこと。（17歳）
- ・子どものために、大人が環境を整えてくれること。また、その環境で子どもがいかに自分らしさを出せるかどうか。（17歳）
- ・まず、大人が子供にとって何が大切なのか、又、何が必要ではないのかを子供の意見をしっかりと聞いた上で議論を重ねその結論を実行に移していくことだと思います。（17歳）

【おとな】

おとなに、子どもが安心して、自分らしく生き、社会に参加しながら成長していけるには、どんなことが大切だと思うか、何でも自由に書いてもらったところ、以下のような回答がありました。（抜粋）

- ・一人一人の意見が反映される社会（10代）
- ・親が幸せな背中を見せていること（20代）
- ・近くにいる人から（親も）子供の話をきいて、理解して、愛してあげる。悩んでる事も、自分の悩みと比べない。個性を大切にできたら、安心できると思います。（20代）
- ・子供の個性を尊重し、大人の価値観を押し付けないこと（20代）
- ・子どもの周りには大人がまず、自分らしく生きて、周りの人にやさしく親切にしていけば子供は見ていてと思うので自然と身についてくるものだと思っている。大人が自覚して責任感を持ち、自分を律していく力があれば子供も安心して生きられるのではないかと思います。（30代）
- ・親が子供を大切にできる時間、環境があること。教育者もストレスなく、安心して子供と向き合えること。（30代）
- ・大人が責任をとれる範囲で子どもの考えを尊重してあげられること（30代）
- ・子どもが自分の意志で行動する事は、大切で、大人はあまり言い過ぎない。悪い事に対しては大人もしっかり言葉で伝える。情報や言葉などがネットで簡単に伝わりすぎる事で、トラブルがおきたり傷ついたりするのでSNSなどの規制をしっかりとつくるべきだと思う。（40代）
- ・大人にその機会を与えたり子供の事を思いやる余裕が無ければ実現できないと思います。貧困の連鎖、虐待の連鎖、低学歴の連鎖を止めるのが鍵ではないかと思います。（40代）
- ・周囲の大人が子どもの発するSOSに気づき、適切な対応をしてあげる事。子どもが自分で自分の身を守ることができるための方法をきちんと伝えておく。親以外の大人とも関わりを

持ち(見守られながら)ながら成長していける環境を作っていくことが大切だと感じている。

(40代)

- ・心を寄せる大人がいること。それは社会の安定が欠かせないと思います。衣食足りて礼節を知るのは大人から。その余裕が子供へ愛として豊かさとして注がれると思います。(50代)
- ・供が参加できること、相談できるイベントを増やすボランティアの方の協力地域の方の目守り活動公園等の安全管理子供の元気な声が聞こえとうれしくなりますとても大切な事だと思います(50代)
- ・周りの大人(親)が子に自分の価値観を押し付けないこと、子の行動や意思を尊重すること。たとえ自分と意見が違っても頭ごなしに否定せず、まずは受け入れて話し合うこと。大人が自分は正しい完璧だと思わないこと。(50代)
- ・大人は子供を決めつけず、より添うときはより添い、悪いことはキチンとさとし、子供と関わっていくことが大切なのではと思います(60代)
- ・人の意見を聞き自分の意見もはっきり言える事思いやりがあるなか自分をしっかりとつ事(60代)
- ・子供どうしの競争がきつすぎず、それぞれの子供が個性を尊重される環境。子供どうしで風規が乱れていない環境。(60代)
- ・子供との約束は守ること。言い訳はしないこと。(70代)
- ・多くの事を体験させる、混らわせる、空気になごませる努力をする、成長する姿をみつけるよう、機会を増す、見守られてるという安心感を子供達に感じさせる努力をしていく(70代)
- ・親や、大人が子供の立場に立って物事に対応することが大切である。(70代)
- ・子供が自分自身に人生を力強く生き抜くのだとの自信と意欲を持つには成長の段階で得る実体験が最も重要です。頭で考えることは、何でも自在ですが自身全体の感覚は死まで残ります。体験豊かな人間程、優しく心豊かで羨ましいですね。(80代以上)
- ・子供の性格を考えて、無理なく寄り添うことが大切。子供が自分と向き合い、相談したいことがあれば、相談して考える。それを参考にして自分はどうしたいのか自分自身としっかり向き合って自分の進むべき道を考えながら成長してゆくのなら、結果はどうあれ、自分自身の道を進んでいるという満足と向上心が持てると思う。(80代以上)
- ・家族はもちろん社会の皆んなが子どもに愛あるやさしい心で接してやる事が出来れば子ども達も安心して、心がおだやかで豊かな思いやりのあるやさしい子どもに育っていくと思います(80代以上)

【職員】

職員に、子どもが安心して、自分らしく生き、社会に参加しながら成長していけるには、どんなことが大切だと思うか、何でも自由に書いてもらったところ、以下のような回答がありました。

(抜粋)

- ・家庭で愛されること、自分の意見を言える環境があること。(学校関係)

- ・自己肯定感を育てること。まずは自分が自分を好きになる。すると自信が持て心に余裕がで
き周りにも優しくなれる。(学校関係)
- ・衣食住の安定、支えてくれる人(存在)(学校関係)
- ・ありのままの姿が認められ、安心して自分らしく生きられる社会をみんなで作っていく(子
どもの気持ちがいっしょに反映されること)(学校関係)
- ・大人が子供の意見を止めず何でも聞いてあげる体制づくりが必要。子供が間違っているも否
定しない。(学校関係)
- ・安心してすごせる場所(家庭や学校など)が成長するためには、必要だと思う。自分らしく
生きるためには、自分のことをわかってもらえる人(信頼できる人)が身近にいることも大
切だと思う。(学校関係)
- ・子どもの自主性、主体性を尊重し、正しい判断力が育めるようできるだけ多くの体験や経験
を、それもじっくりと時間をかけて、させてやりたい。(学校関係)
- ・周りの大人たちにも心の余裕が必要だと思う。経済的にも社会的立場にも不安な世の中では
しわ寄せが子どもたちへ向かってしまうので日本が変わらなければ痛ましい事が続く。(学校
関係)
- ・1人1人が愛され、大切にされているという実感をもてる経験をたくさんしていくことが大
人になってからも生きる糧となると感じる。(施設関係)
- ・小さい時から愛されている、大切にされている実感をもつこと。自己肯定感を持ち、周りも
大切にできること。相手の気持ち、心の痛みがわかること。(施設関係)
- ・信頼できる大人であったり、居場所が必要、また、養育能力が低い親の子どもも他児と同じ
ような環境を作れるよう周囲の努力が必要。(施設関係)
- ・子どもをとりまく大人の環境が大切だと思います。(施設関係)
- ・大人の意識が変わるように子どもの時から人権についてしっかり学ぶ機会を作ること。(施設
関係)
- ・まずは子どもの心身の安全が保たれることが大前提にあると感じます。自分は大切にされて
いるという安心感の中で初めて外へ向かって発信したり発揮したりすることができると思
います。また、教育機関や福祉施設では、人権についての意識や研修等も行われているが、家
庭ではまだまだ意識がうすいと思う(教育機関等でもまだまだ不十分)。家庭にも、どう伝え
ていき理解してもらおうかということは今後課題だと感じる。そして、子ども会議でも発言が
あったように、大人自身が幸せであることが、子どもの幸せに必ず繋がると思うので、楽し
く、好きなことをして、人として充実していくことが大事だと改めて思いました。(施設関係)
- ・子どもを取り巻く環境にいる大人たちが、もっと笑っていられる状況をつくること!!(施
設関係)
- ・自分の気持ちを受け止めてくれる場所、人が有ることが大切だと思う(施設関係)

【職員】

職員に、あなたの職場において、子どもが安心して、自分らしく生き、社会に参加しながら成長できる子どもの権利を保障していくうえで、課題として感じていることについて、具体的に書いてもらったところ、以下のような回答がありました。(抜粋)

- ・私の担任しているクラスに黒人とのハーフの子がいて、以前髪形について指導したことがあるが、保護者の方から指導について意見をいただいたことがあり、難しく感じた。(学校関係)
- ・子どもたち同士で権利を阻害し合うこともある。また、親の考え方を変えるのは子どもよりも難しい。(学校関係)
- ・職員研修などを通して子どもの権利についての共通理解をはかることも行っているが、それが実際の場で生かされるかどうかと考えると、温度差を感じることもある。根気よく、場面をとらえて伝えていくしかない(学校関係)
- ・子ども自身で考える時間やまわりを見わたせる余裕をもった時間などがもっと確保できるとよいが実際は学業や行事等に子どもも日々おわれていることが課題(学校関係)
- ・父母とも常勤で働いていて、子どもに向き合う時間が少ない家庭が多い。子どもは、忙しい父母を困らせないように気を遣ったり、反抗したりすることがないようで、家庭の中で、子どもの権利が保障されているのか疑問に思うことがある。(学校関係)
- ・先生も子どもも権利を学ぶ場がないので、設けられたらと思う。(学校関係)
- ・保育者の価値観によって、物事のとらえ方がちがう中で子ども自身のとらえられ方もちがうことがあるところに難しさを感じる。(施設関係)
- ・私たち大人も人間であり、子どもとの相性がある。責任感から接するところで受け入れられない子どもの負担がある。ただ集団のため、いつも個別や関わらないわけにもいかず悩む。(施設関係)
- ・子どもへの支援はできるが、その保護者支援までは難しい。親が幸せでないと結局子どもも幸せになれないと感じる(施設関係)
- ・保護者と子どもの意思がいつも同じとは限らない中で支援を考えていくこと。(施設関係)
- ・保護者との関係性。子どもの安心、安全を1番に権利の保障を考え日々保育を行っているが保護者と共有できないことも多い。1番身近な存在の保護者が子どもの権利の保障を理解していないことが多く、なかなか思いが伝わらない(施設関係)
- ・子供の権利を大人がひろく学び周知する事が必要だと思います。それを守る為に大人は様々な機関を頼る事が可能な事を伝えていく事で、より良い環境が作れると思います。(施設関係)

(3) 休校中の過ごし方、気持ち

【子ども】

子どもに、新型コロナウイルス感染症のため急に学校が休みとなり、その中での過ごし方とその時の気持ちについて具体的に書いてもらったところ、以下のような回答がありました。(抜粋)

年齢	何をしてすごしたか	どんな気持ちですごしたか
11歳	勉強	早く友達に会いたい
11歳	ゲーム、手芸、ゴロゴロ	さいしょは「ゲームできるな、ふふ。」と思ったけど、最後は「つまらん。」
11歳	ペーパークラフト	もともと家が好きだったから、よかった。でも自由に外へ行けないのが辛い
12歳	勉強をし、息抜きにゲームをしたりYouTubeを見たりした。	自由な時間が増えたけれど、つまらない時もあった。
12歳	勉強	いつもと同じ
12歳	勉強やゲーム、時々サッカー	学校が早く始まってほしかった。
13歳	植物を育てていた、虫などの生き物を飼育、筋トレ、勉強の復習	いそがしくなくて逆に暇な日が多かった。自分の趣味を見つけるチャンス
13歳	新しいことに挑戦した。	普段とかわらない。
13歳	友達と遊んでいた、友達と電話	楽しかった。早く学校に行きたい
14歳	勉強・ランニング・ゲーム	受験なので、不安な気持ちですごした。
14歳	塾の課題、ゲーム	学校に行かなくてよいという安心感。
14歳	オンライン授業を部屋でもりながら受けていた。	勉強への配慮がたらず、負担が大きい。ワイファイの関係で上手くいかない人もいるのに進んでいくのはおかしいと思った。やる気がおきなかった。目などの疲労もたまった。9月スタートに変えて欲しかった。
15歳	ゲームや課題をしながらすごした。	1日でも早く友達と会いたい、学校に行きたい、外に出たい、遊びたい気持ちで一杯だった。
15歳	好きなドラマや、昔のドラマをずっと見てました。	「学校に行かなくていい」と思えて、すごく気持ちが楽で「この時間が続けばいいのに」と思っていました。
15歳	毎日勉強をしすごしていました。	外にでられなくつらかった。部活をしたかった

年齢	何をしてすごしたか	どんな気持ちで過ごしたか
16 歳	ピアノを弾いて勉強をして本を読んだ。	刺激が欲しいと思っていた。ボランティアをしたと思った。
16 歳	部屋の片づけ。	だれともしゃべらず、寂しい気持ち。
16 歳	オンライン授業	学校に行かなくて良いから自由に過ごせる時間が増え楽しかった。
17 歳	宿題、家族でゲームをした。	家族と関わる時間が増え、きずなが深まった。進路に対する不安もあった。
17 歳	野球の練習、勉強、読書、アニメ、映画、お話し	楽しい日や憂うつな日を繰り返していた。
17 歳	友だちと遊んだ。家のことをした。兄妹と遊んだ	楽しくすごせた。

【おとな】

おとなに、新型コロナウイルス感染症によって学校が休業したり外出の自粛要請が行われた中で子どもとの過ごし方について、悩んだことや難しかったこと、工夫したことを具体的に書いてもらったところ、以下のような回答がありました。(抜粋)

年齢	悩んだことや難しかったこと	工夫したこと
10 歳代	家にいなければいけない時期はかんたんだったが、あいまいな時間は自分のものさしで決めるのは少しまよった。	映画、本が好きだからいつもより読めた。車移動にして電車は使わなかった。
10 歳代	弟が中学生なのだが全く勉強している気配がなくて心配になった	特にない
20 歳代	ペーパークラフト	もともと家が好きだったから、よかった。でも自由に外へ行けないのが辛い
20 歳代	保育園の一時保育を利用して仕事をしようと考えていたが、安心して預けられる状況じゃないため、計画が変わってきた…	自転車で行ける所公園、屋外で遊ぶことが増えた。
20 歳代	初めての子育ての中、外にでるのは散歩くらいなので、人と会う機会が少なく、人見知りが多い	テレビ電話で人に会わせる

年齢	悩んだことや難しかったこと	工夫したこと
30 歳代	保育園に登園自粛となり、日中どこで遊ばせたらよいか悩みました。体を動かさないと夜寝てくれず、1 日子供と一緒に過ごすのは大変でした。仕事を休まなければいけないこともあり、迷惑をかけているという罪悪感がありました。	保育園に通っているときと同じ生活リズムを続けるようにしました。夫はテレワークしながら子供を見ることもありましたが、リモート会議など子供がいるとできない仕事については、極力その時間に合わせて子供を寝かせるなど工夫をしていたようです。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・体を動かすことが少なくなってストレスがたまっていた ・夏休みの思い出がつかれず、絵日記の内容になやんだ 	<ul style="list-style-type: none"> ・人が少ない時間帯を見計らって河原でダッシュ ・家の中でのスポーツを楽しんだ
30 歳代	学校が休みになり、学習が停滞したこと。習っていないことを勉強するという意識づけが大変であった。	学校では教えてくれない状況下で自分でやるようにならなくてはならないと何度も言い聞かせながら学習させた。
40 歳代	毎日のごはん。仕事への不安、売上減少で生活の不安。	勉強に力を入れていた。仕事の今後の戦略
40 歳代	友だちと過ごせる時間がほとんどなくなってしまうこと。室内で過ごす事が増えて、体力の低下が気になった。家庭で十分な学習時間をとることが難しかった。	<ul style="list-style-type: none"> ・室内で体を動かすゲームを作り、一緒に楽しんだ。 ・人が少ない時間帯に広場で体を動かした。 ・学校と同じタイムスケジュールで過ごせるよう心がけた。
40 歳代	孤立してしまった。2 人で過ごす事が多かった。	なるべく沢山話するように、一緒に時間を過ごせるようにした。
50 歳代	授業がなく、学校に通うことができないので、コミュニケーション不足が心配であった	親としてコミュニケーションを積極的にとり、職場の出来事をよく話しました。
50 歳代	とにかく学習の機会、時間が絶対的に減ってしまったので子供に自発的な学習をうながすのが難しかった	ネットフリックス等に参加して楽しく過ごせるように努めた
50 歳代	公園等の外遊びができない。何か教えようとする、すぐ学年の範囲を越えてしまう。	興味のそそる事を盛り込んで勉強させる。

年齢	悩んだことや難しかったこと	工夫したこと
60 歳代	友達に誘われ、気軽に外出する子供に毎日、注意しなくてはならなかった	マスクと消毒、手洗い、できるだけ外出しない。
60 歳代	子供が自宅ですごす時間が増え、親子で対立しがちな時期が4月にありました	親が感情を押さえよう我まんしました毎日おいしい食事を出すように心がけています
70 歳代	高2の孫は、学校が休校で不安そう毎日だった。リモート授業とかいうが貧乏な家庭にパソコンやスマホはないし、回線設置や電気代など無理！	高校生だから、それなりに考えて学習していたと思う。机もないから食卓があいてる時とか夜遅い時間などに…。
70 歳代	・遊びに来てもどこにも連れていけない。 ・テレビを見る時間が多くなった。	・工作で子どもが楽しくすごせるように手作りを考えた。 ・オセロ、トランプなどいっしょに関わって遊んだ。 ・自分で時間の割りふりをさせた。
80 歳以上	貧困家庭の学習格差は大丈夫ですか？	新型コロナの収束を願い、唯々頑張っています

【職員】

職員に、新型コロナウイルス感染症によって学校が休業したり外出の自粛要請が行われた中での子どもへの対応を考え、悩んだことや難しかったこと、工夫したことを具体的に書いてもらったところ、以下のような回答がありました。(抜粋)

所属	悩んだことや難しかったこと	工夫したこと
学校関係	消毒のタイミング、回数など、子どもが感染しないようにするのが、不安でした。	密にならないようにしたり、換気を徹底しました。
学校関係	新入生だったので、どう関係づくりをしていくか	「自己紹介カード」をかいてきてもらい、それを見ながら面談をした。
学校関係	・休みが長期化することで、子どもとのつながりのもち方をどうするか ・保護者の都合でやむなく預かることになった子ども達の対応をどうするか ・再開後の対応にあたってのマニュアル作成	その都度管理職、総括教諭が中心となり、方向性を示していった

所属	悩んだことや難しかったこと	工夫したこと
学校関係	担任としての子どものつながり方、子ども同士のつながり	自分のことを少しでも分かってもらえるような紹介、新聞。分散登校時に前半・後半の子どもたちがメッセージを書き合う活動
学校関係	・学校行事、部活動や大会 ・学習の遅れと回復のスケジュールについて	・体力低下に伴う部活動のメニューの改変 ・学習計画の再考
学校関係	・学校として求められる様々な対応についてハード面とソフト面のギャップの大きさ ・保護者の要望と公的機関として取り組める狭間での葛藤	・職場として子どもを第一に考えつつ、信頼を得られるような確かな対応について、冷静にできることから実行に移した
学校関係	家庭の協力を得るのが難しく、学習してきたことの積み上げが休業のため途絶えてしまった	短時間の学習相談で生活リズムを整えたり、学習習慣を取り戻したりしたこと。取り組みやすい教材の工夫（学習の見本づくり、がんばりカード）
学校関係	子どもたちは口に出して言いませんが、これからの対する不安等からやる気のなさ、前向きになれない態度を感じました。どうしたら希望をもって学校生活を送れるのか、何をしたら良いのか悩みました。	教師自身が笑顔でいること、楽しいことを見つけようとする態度でいることが第一かと思っています。
施設関係	学童保育や児童館に来るメンバーが限られたため、今まで遊んでいた気の合う仲間が居ない子が多かったため、いつものように楽しく遊べない子が多かった。	親子さんや子どもの様子で普段と違う点がないか、注意しながら見守った。その結果、どちら側にも悩んでいる様子の伺える人がいたので、相談に乗ってあげ、親子の架け橋となれるよう、両者に歩み寄った。
施設関係	これからの運営や今までの仕事のしかたではダメになるのかと思ったらこの先の不安でしかなかった。	とにかく再会されるまでに子どもたちが保育園が楽しく通えるように玩具を作ったり、清潔にたもつための仕方を考えていった。

所属	悩んだことや難しかったこと	工夫したこと
施設関係	学校休業中でも学校の居場所から毎日わくわくプラザに来る子どもたちが楽しそうにしていたが、休みなく毎日来ている男児がだんだん卑屈になり、自分を卑下するようになった。誰が話しかけてもマイナスなことしか言わず心配した（学校が通常授業になるとウソのように回復した）	コロナ対策で通常のことが出来ずそれでも子どもたちが何か楽しく過ごせることがないか？子どもたちの意見を聞きながらセレクトおやつやブラバン、塗り絵作品展などの行事を実施した
施設関係	休みにはならず、人数が少なかったが、感染予防対策（密は避けられないため）を行うのが難しかった。子どもが友達がいなくてさみしそうにしていたこと	一緒に遊ぶようにした
施設関係	<ul style="list-style-type: none"> ・登園している子に対しての感染予防対策どこまでどうしていいのかわからなかった ・登園している子への心のケア ・自粛している家庭への支援 ・自粛していた子の登園した時の対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが不安にならないようにこういう時こそ楽しく過ごせるように大人が楽しんで保育を意識して行った ・家庭への電話連絡 ・丁寧な対応 ・感染予防対策 等
施設関係	何よりも子どもたちの安全。絶対にコロナに感染させないようにすること、子どもたちが笑える場、楽しく過ごすことができる場を提供しつつ感染対策を徹底すること。	子どもたちに理解をしてもらうため繰り返し声掛けし感染予防しつつストレス発散してもらえる場を提供
施設関係	環境を整えながら、こども達が安心していられる居場所にしていくこと。スポーツも難しくイベントがなかなか出来ずにこども達の楽しむ場面が少なくなってしまったこと。	<ul style="list-style-type: none"> ・消毒がしやすいように棚にすべてビニールシートを貼ってふきやすく工夫したこと。 ・ソーシャルディスタンスが取りやすいように机の中央には×のビニールテープを貼った。
施設関係	・行事の開催の仕方。例年の形ではできなくても、子どもたちに同じように経験の機会を作りたい。	・密にならないような環境構成を考えながら、どうしたら楽しく、子どもたちの成長につながる活動になるか職員間で話し合いを重ねて開催した。